

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月18日

上場会社名 株式会社エコノス 上場取引所 札
 コード番号 3136 URL http://www.eco-nos.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 勝也
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長 (氏名)新行内 宏之 (TEL)011-875-1996
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	3,976	2.7	△42	-	△99	-	△151	-
2019年3月期	3,870	1.1	120	-	72	-	9	-
(注) 包括利益	2020年3月期		△153百万円 (-%)		2019年3月期		9百万円 (-%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△172.66	-	△67.0	△3.8	△1.1
2019年3月期	11.02	10.72	3.3	2.8	3.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 -百万円 2019年3月期 -百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、2020年3月期においては、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	2,618	158	6.0	174.28
2019年3月期	2,651	297	11.2	336.88
(参考) 自己資本	2020年3月期 157百万円		2019年3月期 296百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	△221	△158	148	279
2019年3月期	112	△1	△29	511

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2020年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2021年3月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00		-	

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現時点において合理的に算定する事が困難であると判断し、未定としております。今後の動向を見極めながら、業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 - 社（社名）、除外 1社（社名）野空~~ニ使~~保~~ニ保~~信~~ニ信~~息~~ニ息~~咨~~ニ咨~~（上海）有限公司
 （注）詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲の重要な変更）」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	904,498株	2019年3月期	879,098株
② 期末自己株式数	2020年3月期	289株	2019年3月期	289株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	879,567株	2019年3月期	871,408株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	3,693	2.4	△88	-	△138	-	△188	-
2019年3月期	3,605	△2.6	96	231.5	63	-	1	-

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	△213.77	-
2019年3月期	1.71	1.66

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、2020年3月期においては、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
2020年3月期	2,466	4.4	109	11.2	107	11.2	119.12	11.2
2019年3月期	2,530	11.2	282	11.2	282	11.2	321.49	11.2

(参考) 自己資本 2020年3月期 107百万円 2019年3月期 282百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結の範囲の重要な変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の底堅い推移や雇用情勢の改善により、緩やかな回復基調で推移していましたが、2019年10月の消費税増税や新型コロナウイルスの感染拡大などにより先行き不透明な状況が続いております。

また、世界経済に関しても、米中貿易摩擦問題、英国のEU離脱問題及び新型コロナウイルスの感染拡大などによる減速懸念があり、それらに伴い株式市場・為替市場が不安定さを増しております。

当社グループにおきましては、リユース事業は、2019年10月の消費税増税後の国内消費の落ち込みや新型コロナウイルスの感染拡大に対する2020年2月28日の北海道知事による緊急事態宣言に伴う消費者の外出自粛等の影響により、新規店舗を除く既存店舗の売上が北海道胆振東部地震のあった前年を割り込んだこと、並びに、粗利益率が低下した一方で、主にパート・アルバイト従業員の増員により人件費等が増加したこと、当第2四半期におけるエコタウン旭川西店及び当第3四半期におけるブックオフ・ハードオフ・オフハウス札幌中の島店の開店費用が発生したことにより販売費及び一般管理費が大きく増加した結果、セグメント利益が大幅に減少いたしました。ただし、リユース商品の買取については好調に推移し、前年実績を上回りました。

低炭素事業につきましては、カーボン・オフセットの売上が順調に推移したことにより、前年と比較して売上高が増加しました。それに加えて、固定費の削減効果もあり、セグメント利益は前年に比べ大幅に増加いたしました。また、2019年10月より、次世代住宅ポイント制度に関する商品交換事業を開始いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は売上高3,976,791千円（前年同期比2.7%増）、営業損失42,557千円（前年同期は営業利益120,588千円）、経常損失99,840千円（前年同期は経常利益72,345千円）、親会社株主に帰属する当期純損失151,864千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益9,603千円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次の通りであります。

(リユース事業)

リユース事業におきましては、2019年10月の消費税増税後の国内消費の落ち込みや新型コロナウイルスの感染拡大に対する2020年2月28日の北海道知事による緊急事態宣言に伴う消費者の外出自粛等の影響により、新規店舗を除く既存店舗の売上が北海道胆振東部地震のあった前年を割り込んだこと、並びに、粗利益率が低下した一方で、主にパート・アルバイト従業員の増員により人件費等が増加したこと、当第2四半期におけるエコタウン旭川西店及び当第3四半期におけるブックオフ・ハードオフ・オフハウス札幌中の島店の開店費用が発生したことにより販売費及び一般管理費が大きく増加した結果、セグメント利益が大幅に減少しました。ただし、リユース商品の買取については好調に推移し、前年実績を上回りました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は売上高3,644,609千円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は183,577千円（前年同期比45.0%減）となりました。

当連結会計年度末現在におけるリユース事業の各業態別の店舗数は以下の通りであります。

(単位：店)

	ブックオフ 事業部	ハードオフ事業部				ハードオフ 事業部計	合計
		ハードオフ	オフハウス	ホビーオフ	ガレージ オフ		
店舗数	17	15	17	16	1	49	66

(注) ブックオフ事業部の店舗数にはインターネット販売の1店舗を含みます。

(低炭素事業)

低炭素事業におきましては、カーボン・オフセットの売上が順調に推移したことにより、前年と比較して売上高が増加いたしました。それに加えて、固定費の削減効果もあり、セグメント利益は前年に比べ大幅に増加いたしました。また、2019年10月より、次世代住宅ポイント制度に関する商品交換事業を開始いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は売上高283,137千円（前年同期比6.8%増）、セグメント利益は46,258千円（前年同期比92.8%増）となりました。

(その他)

本セグメントは報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業とiCracked Storeの運営を通じてiPhoneの修理等のサービスを行うリペア事業を含んでおります。

リペア事業につきましては、当第2四半期にiCracked Store吉祥寺を、当第3四半期にiCracked Store大宮を新規オープンし、開店費用を計上いたしました。

以上の結果、本セグメントの当連結会計年度の業績は売上高49,044千円（前年同期比27.3%増）、セグメント損失は19,105千円（前年同期はセグメント利益1,650千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、1,387,164千円となり、前連結会計年度末と比べて114,021千円の減少となりました。これは、主に現金及び預金の減少231,767千円、売掛金の増加79,589千円及びたな卸資産の増加37,778千円によるものです。

また、当連結会計年度末における固定資産は、1,231,826千円となり、前連結会計年度末と比べて81,436千円の増加となりました。これは、主に有形固定資産の増加52,033千円及び投資その他の資産の増加26,776千円によるものです。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、1,050,587千円となり、前連結会計年度末と比べて5,617千円の減少となりました。これは、主に買掛金の減少21,593千円、未払金の減少31,770千円、未払法人税等の減少11,795千円、その他の減少24,379千円、短期借入金の増加30,000千円及び1年内返済予定の長期借入金の増加54,260千円によるものです。

また、当連結会計年度末における固定負債は、1,409,493千円となり、前連結会計年度末と比べて111,380千円の増加となりました。これは、主に長期借入金の増加112,660千円、資産除去債務の増加18,586千円、繰延税金負債の増加18,076千円及びリース債務の減少32,210千円によるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、158,909千円となり、前連結会計年度末と比べて138,348千円の減少となりました。これは、主に親会社株主に帰属する当期純損失の計上151,864千円によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、279,405千円となり、前連結会計年度末と比べて231,767千円の減少となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの概況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は221,912千円（前年同期は112,677千円の収入）となりました。これは、主に減価償却費の計上80,224千円、減損損失の計上15,241千円による資金の増加があったことと、税金等調整前当期純損失の計上131,135千円、売上債権の増加79,589千円、たな卸資産の増加37,832千円、未払金の減少43,219千円、仕入債務の減少21,593千円、その他の負債の減少27,930千円による資金の減少があったためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は158,368千円（前年同期は1,291千円の支出）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出117,798千円、敷金の差入による支出24,465千円、無形固定資産の取得による支出15,000千円による資金の減少があったためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は148,689千円（前年同期は29,541千円の支出）となりました。これは、主に長期借入金の増加による収入450,000千円、短期借入金の増加による収入30,000千円、ストックオプションの行使による収入14,127千円の資金の増加があったことと、長期借入金の返済による支出283,079千円、リース債務の返済による支出36,468千円、社債の償還による支出16,600千円による資金の減少があったためです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	17.1	15.7	11.1	11.2	6.0
時価ベースの 自己資本比率 (%)	12.6	11.8	18.3	19.2	16.6
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	307.4	—	20.3	16.4	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	0.1	—	1.3	1.7	—

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。
4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。
5. 2017年3月期及び2020年3月期は、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、消費税増税後の消費マインドの低下及び新型コロナウイルスの感染拡大による企業活動の停滞や消費者の外出自粛、インバウンド消費の低迷などが及ぼす影響により、我が国経済の先行きは不透明な状況が継続すると予測されます。

また、世界経済につきましても、米中貿易摩擦問題、英国のEU離脱問題及び新型コロナウイルスの感染拡大などによる減速懸念があり、それらに伴い株式市場・為替市場が不安定さを増しております。

このような環境の中、翌連結会計年度(2021年度3月期)の連結業績見通しにつきましては、現時点において合理的に算定することが困難であると判断し、未定としております。

今後の動向を見極めながら、業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	511,173	279,405
売掛金	175,203	254,793
たな卸資産	757,910	795,689
前払費用	49,841	50,104
その他	7,057	7,171
流動資産合計	1,501,186	1,387,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	133,681	179,557
工具、器具及び備品（純額）	86,848	126,424
土地	115,483	115,483
リース資産（純額）	437,040	403,946
その他（純額）	2,631	2,306
有形固定資産合計	775,684	827,718
無形固定資産		
その他	1,727	4,354
無形固定資産合計	1,727	4,354
投資その他の資産		
投資有価証券	30,051	28,139
敷金	276,830	291,825
繰延税金資産	5,290	5,799
その他	60,806	73,988
投資その他の資産合計	372,978	399,754
固定資産合計	1,150,390	1,231,826
資産合計	2,651,576	2,618,990

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	76,438	54,844
短期借入金	450,000	480,000
1年内償還予定の社債	16,600	8,700
1年内返済予定の長期借入金	239,101	293,361
リース債務	35,842	36,466
未払金	99,087	67,317
未払費用	63,147	66,914
未払法人税等	23,315	11,519
未払消費税等	18,829	13,421
ポイント引当金	3,677	3,991
受注損失引当金	-	8,265
その他	30,163	5,784
流動負債合計	1,056,204	1,050,587
固定負債		
社債	58,700	50,000
長期借入金	466,293	578,953
リース債務	586,780	554,569
長期末払金	51,813	46,086
長期前受収益	16	-
退職給付に係る負債	46,733	54,256
資産除去債務	87,475	106,062
繰延税金負債	-	18,076
その他	300	1,489
固定負債合計	1,298,113	1,409,493
負債合計	2,354,317	2,460,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,895	220,989
資本剰余金	162,222	169,257
利益剰余金	△82,180	△234,370
自己株式	△164	△164
株主資本合計	293,773	155,712
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,859	1,875
為替換算調整勘定	△575	-
その他の包括利益累計額合計	2,283	1,875
新株予約権	-	1,322
非支配株主持分	1,201	-
純資産合計	297,258	158,909
負債純資産合計	2,651,576	2,618,990

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	3,870,614	3,976,791
売上原価	1,277,165	1,379,602
売上総利益	2,593,449	2,597,188
販売費及び一般管理費	2,472,860	2,639,746
営業利益又は営業損失(△)	120,588	△42,557
営業外収益		
受取配当金	953	1,023
受取手数料	8,877	8,722
消費税差額	3,376	3,351
業務受託手数料	3,095	3,651
協賛金収入	1,740	1,738
助成金収入	621	324
その他	2,426	2,514
営業外収益合計	21,089	21,325
営業外費用		
支払利息	67,330	66,265
新株予約権発行費	-	7,713
その他	2,002	4,629
営業外費用合計	69,332	78,608
経常利益又は経常損失(△)	72,345	△99,840
特別損失		
減損損失	36,274	15,241
受注契約解約損	-	9,753
賃貸借契約解約損	-	4,800
投資有価証券評価損	-	1,500
災害による損失	3,217	-
特別損失合計	39,492	31,294
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	32,853	△131,135
法人税、住民税及び事業税	12,351	4,145
法人税等調整額	9,697	17,733
法人税等合計	22,048	21,879
当期純利益又は当期純損失(△)	10,805	△153,015
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	1,201	△1,150
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	9,603	△151,864

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	10,805	△153,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△935	△984
為替換算調整勘定	79	575
その他の包括利益合計	△855	△408
包括利益	9,949	△153,423
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	8,747	△152,272
非支配株主に係る包括利益	1,201	△1,150

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	210,813	159,140	△91,783	△69	278,100	3,794	△655	3,139	-	-	281,239
当期変動額											
新株の発行(新株予約権の行使)	3,082	3,082			6,165			-	-		6,165
親会社株主に帰属する当期純利益			9,603		9,603			-			9,603
自己株式の取得				△95	△95			-			△95
新株予約権の発行					-			-	-		-
連結子会社株式の取得による持分の増減		-			-			-			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			-		-	△935	79	△855		1,201	345
当期変動額合計	3,082	3,082	9,603	△95	15,673	△935	79	△855	-	1,201	16,018
当期末残高	213,895	162,222	△82,180	△164	293,773	2,859	△575	2,283	-	1,201	297,258

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	213,895	162,222	△82,180	△164	293,773	2,859	△575	2,283	-	1,201	297,258
当期変動額											
新株の発行(新株予約権の行使)	7,093	7,093			14,187			-	△60		14,127
親会社株主に帰属する当期純利益			△151,864		△151,864			-			△151,864
自己株式の取得				-	-			-			-
新株予約権の発行					-			-	1,382		1,382
連結子会社株式の取得による持分の増減		△59			△59			-			△59
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△325		△325	△984	575	△408		△1,201	△1,935
当期変動額合計	7,093	7,034	△152,190	-	△138,061	△984	575	△408	1,322	△1,201	△138,348
当期末残高	220,989	169,257	△234,370	△164	155,712	1,875	-	1,875	1,322	-	158,909

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	32,853	△131,135
減価償却費	77,263	80,224
長期前払費用償却額	2,545	1,485
賃貸借契約解約損	-	4,800
新株予約権発行費	-	7,713
受注契約解約損	-	9,753
災害損失	3,217	-
減損損失	36,274	15,241
投資有価証券評価損益(△は益)	-	1,500
受取利息及び受取配当金	△973	△1,028
支払利息	67,330	66,265
売上債権の増減額(△は増加)	△76,866	△79,589
たな卸資産の増減額(△は増加)	△65,628	△37,832
仕入債務の増減額(△は減少)	70,088	△21,593
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,937	△483
未払金の増減額(△は減少)	13,057	△43,219
未払費用の増減額(△は減少)	485	3,777
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,676	313
受注損失引当金の増減額(△は減少)	-	8,265
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	2,436
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,897	7,523
その他の資産の増減額(△は増加)	31,859	△6,410
その他の負債の増減額(△は減少)	△2,919	△27,930
小計	183,871	△139,924
利息及び配当金の受取額	1,252	1,026
利息の支払額	△65,483	△64,524
法人税等の支払額	△4,137	△15,253
法人税等の還付額	-	△3,236
災害損失の支払額	△2,825	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	112,677	△221,912
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,572	△117,798
無形固定資産の取得による支出	-	△15,000
敷金の差入による支出	△10,130	△24,465
敷金の回収による収入	43,814	5,180
投資有価証券の取得による支出	△240	△1,740
投資有価証券の売却による収入	-	1,000
子会社株式の取得による支出	-	△109
資産除去債務の履行による支出	-	△5,529
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△163	94
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,291	△158,368

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	30,000
長期借入れによる収入	250,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△231,182	△283,079
社債の償還による支出	△16,600	△16,600
長期未払金の返済による支出	△2,999	△2,959
リース債務の返済による支出	△34,829	△36,468
ストックオプションの行使による収入	6,165	14,127
新株予約権の発行による収入	-	1,382
新株予約権の発行による支出	-	△7,713
自己株式の取得による支出	△95	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,541	148,689
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△175
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	81,856	△231,767
現金及び現金同等物の期首残高	429,316	511,173
現金及び現金同等物の期末残高	511,173	279,405

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

当連結会計期間において、当社の連結子会社である野空~~ニ~~使~~ニ~~保~~ニ~~信~~ニ~~息~~ニ~~咨~~ニ~~(上海)有限公司の清算に伴い、連結の範囲から除外いたしました。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価する為に定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは商品・サービス別のセグメントから構成されており、「リユース事業」、「低炭素事業」の2つの報告セグメントとしております。

「リユース事業」は当社リユースショップ「ブックオフ」「ハードオフ」「オフハウス」「ホビーオフ」「ガレージオフ」の運営事業であり、「低炭素事業」は主に温室効果ガスの排出権取引であるカーボン・オフセット・プロバイダー事業であります。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

各報告セグメントの主な内容は以下のとおりであります。

セグメント	取扱商品及びサービス内容	
リユース事業	ブックオフ	書籍・CD・DVD・ビデオ・ゲームソフト等
	ハードオフ	パソコン・オーディオ・ビジュアル・楽器・腕時計・カメラ・各種ソフト等
	オフハウス	ブランド品&アクセサリ・家具・インテリア・ギフト・生活雑貨・婦人服・ベビー&子供服・スポーツ用品・白物家電・アウトドア用品等
	ホビーオフ	ホビー・トレーディングカード・その他玩具全般等
	ガレージオフ	タイヤ・ホイール・カーオーディオ・パーツ・アクセサリ・カー用品等
低炭素事業	カーボン・オフセット・プロバイダー事業	温室効果ガスの排出権の創出や排出量の削減のコンサルティング 排出権の売買及び売買の仲介・二国間クレジット等実現可能性の調査

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
	リユース 事業	低炭素 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,567,073	265,016	3,832,090	38,524	3,870,614	-	3,870,614
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,567,073	265,016	3,832,090	38,524	3,870,614	-	3,870,614
セグメント利益又は損失 (△)	333,574	23,997	357,571	1,650	359,222	△238,634	120,588
セグメント資産	1,792,447	197,252	1,989,700	75,903	2,065,603	585,973	2,651,576
その他の項目							
減価償却費	75,729	133	75,862	819	76,682	580	77,263
のれんの償却額	-	-	-	-	-	-	-
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	62,824	399	63,223	110	63,333	-	63,333

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及びリペア事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△238,634千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額585,973千円は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であり、主に親会社での現金及び預金、投資有価証券等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
	リユース 事業	低炭素 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,644,609	283,137	3,927,746	49,044	3,976,791	-	3,976,791
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,644,609	283,137	3,927,746	49,044	3,976,791	-	3,976,791
セグメント利益又は損失 (△)	183,577	46,258	229,836	△19,105	210,731	△253,288	△42,557
セグメント資産	1,942,365	234,027	2,176,392	93,944	2,270,337	348,653	2,618,990
その他の項目							
減価償却費	77,137	171	77,308	1,858	79,167	1,056	80,224
のれんの償却額	-	-	-	-	-	-	-
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	135,826	114	135,941	11,053	146,995	-	146,995

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及びリペア事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△253,288千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額348,653千円は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であり、主に親会社での現金及び預金、投資有価証券等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	336円88銭	174円28銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	11円 2銭	△172円66銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	10円72銭	-円 -銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当連結会計年度においては、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	9,603	△151,864
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益及び普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	9,603	△151,864
普通株式の期中平均株式数(株)	871,408	879,567
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	9,603	-
普通株式増加数(株)	24,769	-
(うち新株予約権(株))	(24,769)	(-)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。